

JOMF 派遣医師便り (2014. 7)



破傷風トキソイド（破傷風ワクチン）が消えた！

マニラ日本人会診療所

菊地 宏久

破傷風トキソイド（破傷風ワクチン）がマニラの市場から突如消えました！
フィリピンでは「薬が市場から突然消える」ということは珍しいことではありません。多くの場合は代替え可能な薬剤ですが、今回は“これしかない”という破傷風トキソイドが消失したため非常に困っています。

フィリピンへ派遣される方々には可能な限り日本での破傷風トキソイド接種をお願いいたします。また医師の方々には接種に関する問い合わせがあるかもしれません。ご迷惑をおかけして申し訳ありませんが、どうぞよろしくお願いいたします。

上記の経緯は以下のような状況で起こっています。

2014年6月初旬から破傷風トキソイドがマニラで調達できなくなっています。当院でも6月から破傷風トキソイド接種ができない状況が続いています。メトロマニラ内の各病院や診療所も各自の在庫がなくなれば“終了”という状況です。フィリピンの多くの問屋は破傷風トキソイドをフランスの薬剤会社から輸入していますが、「フランスの会社からの供給が無い」というのが調達困難の理由のようです。当診療所が普段購入している問屋以外にも問い合わせをしましたが、「7月内の入荷を期待している」と言うのみで現時点での調達可能時期は不明です。

このような状況のため、破傷風ワクチン接種の患者さんへは、時期が合えば一時帰国時に接種をしていただくようお願いしています。また外傷で来院した患者さんで破傷風予防治療が必要な患者さんへは他の病院での加療をお願いしています。しかし、それらの病院でも在庫が極めて少なくなってきた（もしくは無くなった）、とのことで非常に困っている状況です。

もう一度お願いです。

フィリピンへ派遣される方々には可能な限り日本での破傷風トキソイド接種をお願いいたします。患者さんはもちろん、医師の方々にもご迷惑をおかけして申し訳ありませんが、どうぞよろしくお願いいたします。

2014年7月10日記